

OJI HALL New Year Special Concert
MARO World Vol.55 by Fuminori maro Shinozaki & MARO Company

愛と憧れを乗せて。

MARO World

Vol.55

王子ホール ニューイヤー・スペシャルコンサート
MARO ワールド Vol.55 by 篠崎“まる”史紀 & MAROカンパニー ～モーツァルトとチャイコフスキー～

2026
1/10

sat
17:00 開演
16:00 開場

1/11

sun
14:00 開演
13:00 開場

ヴァイオリン
篠崎“まる”史紀

MAROカンパニー

ヴァイオリン / 倉富亮太、郷古 廉、小西健太郎
小林壱成、白井 篤、東條太河、戸澤哲夫、依田真宣
ヴィオラ / 川邊宗一郎、鈴木康浩、中村翔太郎
チェロ / 伊藤文嗣、松谷壮一郎、水野優也
コントラバス / 菅沼希望

全席指定 各¥9,000

モーツァルト：

ディヴェルティメント ニ長調 K136 (125a)

ディヴェルティメント 変口長調 K137 (125b)

ディヴェルティメント ヘ長調 K138 (125c)

チャイコフスキー：

弦楽セレナード ハ長調 Op.48

Wolfgang Amadeus Mozart：

Divertimento in D major, K136 (125a)

Divertimento in B flat-major, K137 (125b)

Divertimento in F major, K138 (125c)

Peter Tchaikovsky：

Serenade for Strings in C major, Op.48

OJI HALL 2025.9.27(土)12:00発売 王子ホールチケットセンター 03-3567-9990



王子ホールが、“まる”の愛称で親しまれているヴァイオリニスト、篠崎史紀と創る音楽の社交場“MAROワールド”第55回は、きら星軍団のMAROカンパニーによるニューイヤー・コンサート。チャイコフスキーに愛されたモーツァルトを特集して、「ディヴェルティメント」K136から138まで全3曲とお待ちかねの「弦セレ」で、愛と憧れに溢れた新年のひと時をお過ごしいたします。

篠崎“まる”史紀 (ヴァイオリン) Fuminori maro Shinozaki (Violin)

北九州市出身。愛称“まる”。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。88年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍し、2025年3月、惜しまれながら退団した。96年に東京ジュニアオーケストラを立ち上げ、以来後進の育成に力を注いでいる。04年より王子ホールでスタートしたシリーズ『MAROワールド』から弦楽合奏団「MAROカンパニー」が結成され、これらの功績により、「2020年度第33回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」受賞。その他、79年史上最年少で北九州市民文化賞、01年福岡県文化賞、14年有馬賞受賞。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員、北九州文化大使、九州交響楽団ミュージック・アドバイザー、リーデンローズ音楽大使、(一社) Music Force 理事長。初の絵本「おんがくはまほう」(リトルモア)、エッセイ「音楽が人智を超える瞬間」(ポプラ社)が刊行されるなど、多方面で活躍している。



倉富亮太 (ヴァイオリン) Ryota Kuratomi (Violin)

東京藝術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業。在学中に安宅賞等受賞。同大学修士課程修了。シゲティ国際コンクール入賞。リビッツァ国際コンクール第2位(最高位)、特別賞受賞。平成25年度優秀学生顕彰大賞受賞。公益財団法人青山財団奨学生。公益財団法人ロームミュージックファンデーション2016年度奨学生。日本大学管弦楽団、東京ジュニアオーケストラソエディ講師。現在、NHK交響楽団次席ヴァイオリン奏者。



郷古 廉 (ヴァイオリン) Sunao Goko (Violin)

2006年第11回ユディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。07年デビュー。13年ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞受賞。オーケストラとの協演、リサイタルなど多岐に亘って活躍。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)を個人の所有者の厚意により貸与。19年第29回出光音楽賞受賞。現在、NHK交響楽団第1コンサートマスター。



小西健太郎 (ヴァイオリン) Kentaro Konishi (Violin)

2001年生まれ。東京藝術大学卒業。北九州国際音楽祭、木曽音楽祭、Singapore Violin Festival、Ost-West Musik Fest (オーストリア)等、国内外の音楽祭に多数参加。現在、東京交響楽団ゲストコンサートマスター等を務める。在学中、ヤマハ音楽奨学支援制度、宗次エンジェル基金奨学生。令和5・6年度松尾学術振興財団音楽助成奨学生。サントリーホール室内楽アカデミー第7・8期フェロー。



小林 忞成 (ヴァイオリン) Issey Kobayashi (Violin)

東京藝術大学、同大学院を卒業・修了し、ドイツ・ベルリン芸術大学大学院 Master 課程修了。Gyrfas Competition 2019(ベルリン)最高位、青山音楽賞新人賞、日本音楽コンクール、松方音楽賞他、入賞受賞多数。ロームミュージックファンデーション、明治安田QOL文化財団など奨学生。国内外の音楽祭への出演はじめ、ソリストとして東響、読響、PACオーケストラなどと共演。現在、東京交響楽団第1コンサートマスター。王子ホールのレジデント「ステラ・トリオ」メンバー。



白井 篤 (ヴァイオリン) Atsushi Shirai (Violin)

国立音楽大学付属音楽高校を経て、桐朋学園大学卒業。1999年、NHK交響楽団に入団。2003年、アフィニス文化財団海外研修員としてオーストリア/ウィーンへ留学。現在第2ヴァイオリン次席奏者。カルテット・リゾナンツァ、室内オーケストラ「ARCUS」メンバー、NPO法人「ハマのJACK」副理事。国立音大付属中・高非常勤講師。



東條太河 (ヴァイオリン) Taiga Tojo (Violin)

メニューイン国際コンクール3位。日本音楽コンクール入賞。ザルツブルク・モーツァルト音楽大学に留学。ピエール・アモイヤルに師事。帰国後、東京藝術大学附属高等学校及び同大学を卒業。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。サントリーホール室内楽アカデミーフェロー。2022年度ロームミュージックファンデーション奨学生及び松尾学術振興財団奨学生。これまでに竹原久美子、原田幸一郎、漆原朝子、松原勝也、レジス・バスキエに師事。現在、NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。



戸澤哲夫 (ヴァイオリン) Tetsuo Tozawa (Violin)

東京藝術大学大学院修士課程修了。大学院在学中より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスターに就任。現在に至る。2001年モルゴア・カルテットに加入し、06年にショスタコーヴィチ生誕100周年記念特別企画として、3日間で弦楽四重奏曲全15曲を完奏する。10年より日本大学芸術学部非常勤講師。



依田真宣 (ヴァイオリン) Masanobu Yoda (Violin)

東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院修士課程を修了。在学中に「福島賞」、「安宅賞」を受賞。更に、国内の主要オーケストラのゲストコンサートマスターとして出演し、2014年から横浜シンフォニエッタのシーズンメンバー、コンサートマスターも務めている。



川邊宗一郎 (ヴィオラ) Soichiro Kawabe (Viola)

東京藝術大学大学院2年在籍。第32回日本クラシック音楽コンクールヴィオラ部門第3位(最高位)。第28回コンセル・マロニエ21入選。木曽音楽祭、ルポ音楽祭、北九州音楽祭、ヴィオラスペースなどに出演。カルテット風雅として第13回秋吉台音楽コンクール 室内楽(弦楽四重奏)部門第1位。併せてベーターヴェン賞、山口県知事賞を受賞。ヴィオラを佐々木 亮、市坪俊彦に師事。



鈴木康浩 (ヴィオラ) Yasuhiro Suzuki (Viola)

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴァイオリンからヴィオラに転向。第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位他、受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで学びベルリンフィル契約団員を経て04年に帰国。王子ホールでは銀座ぶらっと”シリーズ「お昼の名曲サロン」の顔でもある。



中村翔太郎 (ヴィオラ) Shotaro Nakamura (Viola)

NHK交響楽団首席代行ヴィオラ奏者。4歳よりヴァイオリンを始め、東京藝大附属高校入学を機にヴィオラに転向。東京藝大卒業。2010年、第15回コンセル・マロニエ21弦楽器部門第1位。東京ジュニアオーケストラソエディ講師。藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。Alto de Campagne(ヴィオラ四重奏)メンバー。



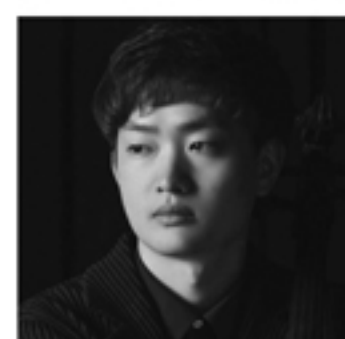
伊藤文嗣 (チェロ) Fumitsugu Ito (Cello)

東京交響楽団ソロ首席チェロ奏者。東京藝術大学を経て、同大学大学院修士課程修了。チェロを山崎伸子、河野文昭、藤森亮一に師事。これまでに、紀尾井ホール室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラなど多数出演。ソリストとして、東京交響楽団とJ・ノット指揮のもと「R.シュトラウス：ドン・キホーテ」「ブレーズ：メサジェスキス」他、多数共演。また、客演首席奏者として国内主要オーケストラに招かれている。



松谷壮一郎 (チェロ) Soichiro Matsutani (Cello)

福井県出身。第15回ビバホールチェロコンクール第3位。第75回全日本学生音楽コンクール全国大会第2位、横浜市民賞。第36回京都芸術祭にて京都府知事賞。第13回秋吉台音楽コンクール弦楽四重奏部門第1位。セントラル愛知交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。中木健二に師事。東京藝術大学音楽学部卒業時に同声会賞受賞。現在同大学大学院音楽研究科修士課程在学中。



水野優也 (チェロ) Yuya Mizuno (Cello)

第76回ブラハの春国際音楽コンクールチェロ部門優勝。第89回日本音楽コンクール第1位、第13回東京音楽コンクール第1位、第31回青山音楽賞新人賞など多数受賞。ソリストとして東響、東京フィル、日本フィル、読響、大阪響、京響などと共演。ジャパン・ナショナル・オーケストラコアマペラー。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース修了。ハンガリー・リスト音楽院にてミクローシュ・ペレーニに師事。現在、ザルツブルク・モーツァルト音楽大学にてクレメンス・ハーゲンに師事。



菅沼希望 (コントラバス) Nozomi Suganuma (Double Bass)

東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程在学中に渡独し、フランクフルト音楽・舞台芸術大学にて学ぶ。大学在学中に新日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し入団。これまでに池松 宏、C.Schmidt、永島義男、西山真二、村上満志、山谷明恵、吉田 秀に師事。新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。

TOKYO ART&LIVE CITY 王子ホールは文化庁が推進する「東京アート&ライブシティ構想実行委員会」に参加しています。

●チケットのお問い合わせ・申し込みは

王子ホール
チケットセンター

03-3567-9990
<https://www.ojihall.jp/>

●発売日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。

※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。
※即日完売の場合もございますので、ご了承ください。

※通常営業日：月曜～金曜10:00～18:00(発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-9990 <https://www.cnplayguide.com/>

■ローソンチケット:0570-000-407 [https://l-tike.com/\(Lコード32766\)](https://l-tike.com/(Lコード32766))

■e+イープラス：<https://eplus.jp/oji/>

《発売日》2025年9月27日(土)
12:00から発売します。

●お席は全席指定です。●楽章間のご入場はできません。
●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

ACCESS

- 地下鉄銀座 A12出口より 徒歩 1分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩 2分
- 地下鉄銀座一丁目駅 8出口より 徒歩 5分
- JR 有楽町駅 銀座口より 徒歩 7分



OJI HALL

銀座 王子ホール

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-7-5

このチラシは王子製紙 OK トップコートマット N 菊判76.5kg を使用しています。
イラスト：保坂真紀

銀座 ソニーパーク	数寄屋橋交差点	
	和光	銀座通り
銀座四丁目 交差点	三越	松屋
晴海通り	三越	王子HD 本館
		● OJI HALL
		入口